

# 広報・教育部門

## 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」による広報活動

浜松市上下水道部

### 受賞事例の概要

新サイト（ウェブサイト）としてキッズサイト「すいすいクラブ」を公開（令和4年3月）



- ・親しみやすいキャラクターが浜松市の水道・下水道の仕組みを分かりやすく解説
- ・動画、探検、クイズ等楽しいコンテンツが充実
- ・学校や家庭でのオンライン学習に最適（コロナ禍とDX推進に対応）

### 数多くのPR活動



浜松市長による紹介（テレビでトップセールス）

小学校社会科担当教員約100人にプレゼン

### 小学校授業で活用



コロナ禍で施設見学が中止となっている中「すいすいクラブ」をデジタル教材として活用した社会科授業が行われている

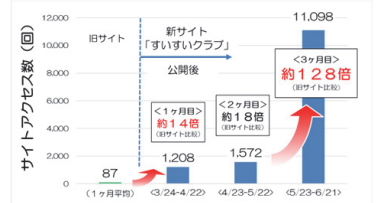
### イベントで活用（予定）



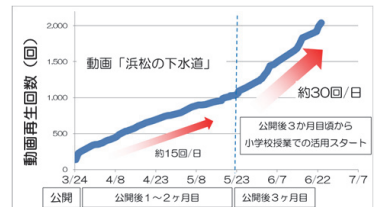
「すいすいクラブ」と「SDGs」をテーマにしたイベントを開催予定（令和4年9月）  
「すいすいクラブ」はデジタル型、体験型の両方を兼ねるハイブリッド型の広報ツールとしての活用も可能

### 成果分析

デジタル広報ツールの特性を活かしたデータ分析による成果確認



- ・旧サイト（以前のキッズページ）と比較して、新サイトでは公開後1ヶ月で大きくアクセス数が増加
- ・小学校での活用が始まった公開後3ヶ月目は、新サイトへのアクセス数がさらに大きく増加



- ・動画「浜松の下水道」の再生回数は公開直後から順調に増加
- ・小学校での活用が始まった公開後3ヶ月目頃から、動画の再生回数はさらに増加

データ分析から、小学校授業での活用が最もアクセスしていただける有効な広報活動であると評価  
小学校授業での活用が定着するようにさらなるPR活動を展開

### PRポイント!

- ・市長によるテレビでのトップセールを始め、職員一丸となった数多くのPR活動を展開
- ・小学校の授業で活用してもらえるように、教員パソコンへのリンク設定、児童へのシール配布、教員向けのプレゼンテーション等の仕掛けを実施
- ・これらPR活動の結果、小学校の社会科授業にて「すいすいクラブ」を活用した授業がスタート
- ・デジタル広報ツールの特性を活かしたデータ分析を行い、その結果に基づき次の展開を検討

### 取組の効果!

- ・「すいすいクラブ」公開後3か月間で、サイトへのアクセスが約14,000回ありました。（以前公開していたキッズページに比べて大幅に増加）
- ・「すいすいクラブ」を活用した多くの小学校から好評をいただきました。  
※先生のコメント「バーチャル見学の形で、分かりやすく学習することができました。」
- ・授業を受けている児童の驚く顔や笑顔を見ることができました。

### Key Person



上下水道総務課 副技監 竹田 俊介

- ・分かりやすく興味を持ってもらえるようなサイトにするために、制作した受託業者と何度も協議を重ねました。また、職員自ら現場の取材や撮影も行ったことで、より納得できるサイトになりました。
- ・各小学校は社会科授業において独自の指導方法があります。そのため、新たな教材としてサイトを活用してもらうのは容易ではありませんでした。そこで、教育委員会や小学校に何度も足を運び、PR活動を続けました。その結果、教員約100人に対してプレゼンテーションを行う機会をいただき、授業で活用されるようになりました。
- ・「すいすいクラブ」を通じて、市民のみなさまが下水道に関心を持ち、知識を深めることで、浜松市の発展に繋がっていくことを願っています。